



TITLE:

後記

AUTHOR(S):

CITATION:

後記. 静脩 1994, 30(4): 8-8

ISSUE DATE:

1994-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/37254>

RIGHT:

図書館の動き

近畿地区国公立大学図書館協議会シンポジウムの開催

標記のシンポジウムが「高度情報ネットワーク時代の図書館サービス」をテーマに平成6年2月9日、本学附属図書館AVホールで開催され、学内外から129名の参加者がありました。

シンポジウムでは、最近いろいろ話題になっているインターネットと図書館の関わりなどにも触れられ、熱心な質疑応答も行われました。プログラムの内容は以下の通りです。

- 「研究者と電子図書館」
京都大学工学部教授 長尾 眞
- 「情報ネットワークの進展と大学図書館」
図書館情報大学教授 原田 勝
- 「電子図書館実験システムの開発」
光華女子大学助教授 谷口敏夫
- 「京都大学図書館システムの現状」
京都大学附属図書館専門員 隅田雅夫

雑誌目録担当職員システム研修の開催

平成6年2月21日から23日にかけて標記の研修会が附属図書館地域共同利用室で開催され、学内の部局図書室から30名の受講者がありました。

図書館職員研修会の開催

標記の学内研修会が「和古書の話」をテーマに平成6年3月8日と16日に開催されました。3月8日の第1回は人文科学研究所附属東洋学文献センターの勝村哲也助教授を講師に迎え「和漢書」の研修が、3月16日の第2回は総合人間学部の上横手雅敬教授を講師に迎え「和書」の研修が行われ、のべ55名が受講しました。

研修への参加

今年度行われた研修とその本学参加者は以下の通りで

目 次

<巻頭記事>

情報環境の整備と電子図書館…………… 1

<お知らせ>

図書館利用証を発行します…………… 2

新入生オリエンテーションのご案内…………… 3

テレックスサービスを終了します…………… 3

<統計>

附属図書館年間利用統計（平成4年度）…………… 5

す。

大学図書館職員長期研修

7月19日～8月6日：図書館情報大学他

松田博（総合人間学部）

総合目録データベース実務研修会

9月27日～10月22日：学術情報センター

忽那一代（附属図書館）

大学図書館職員講習会

11月9日～11月12日：大阪大学

渡邊誠（法学部）

池田千恵子（工学部）

小泉淳子（工学部）

北川昌子（工学部）

目録業務システム専門委員会の開催

本学を主査とする標記委員会（第3回）が平成6年2月15日に附属図書館研修室で開催されました。本年度最後の委員会となった今回は、前回までの討議の集約および次年度の活動方針についての討議が行われました。

近畿北部地区国立大学図書館機械化連絡会議の開催

平成6年3月11日、7大学の事務（部）長、課長、担当掛長等18名が参加して、標記の会議が附属図書館において開催されました。本会議は、近畿北部地区の図書館システムとネットワークの現状や課題等について報告、意見交換を行うもので、毎年開催（昨年は諸般の事情により中止）されています。

なお、本会議のもとに実務担当者を構成員とする「ネットワークシステム小委員会」が設置されており、年に数回、運用上の問題等について協議しています。

<蔵書紹介>

附属図書館所蔵「清原家家学書34種」…………… 4

<図書館の動き>

近畿地区国公立大学図書館協議会シンポジウムの開催…………… 8

雑誌目録担当職員システム研修の開催…………… 8

図書館職員研修会の開催…………… 8

研修への参加…………… 8

目録業務システム専門委員会の開催…………… 8

近畿北部地区国立大学図書館機械化連絡会議の開催…………… 8

後 記

前号掲載の写真のうち、蔵書印の押印箇所の適切でないものがあり、工学部のH教授よりご注意をいただきました。押印当時（昭和28年）の事情は詳らかではありませんが、貴重な資料を損ねることのないよう、今後とも万全の注意を払うつもりです。

図書館は電子化情報の出現などで大きく変わろうとしています。ご意見などお寄せください。（す）

親しみやすく、図書館に興味を持ってもらえるような館報をと思っていましたが、短い間でこれといったことも出来ませんでした。

けれど、編集に携われて何かと興味深かったです。

新年度を迎えるこの季節、気分を新たに今後は読者として静脩の発行を楽しみにしています。（は）